

豊能町、河南町、千早赤阪村及び島本町の情報システムの共同化に係る協定の締結について

このたび、すでに自治体クラウドを導入している豊能町、河南町及び千早赤阪村に島本町が加わり、4町村の情報システムの共同化(注意2)の実現に向けた協定書を本日付けで締結しました。

経費の削減及び住民サービスの向上等を図ることに加えて、本協定に災害時等の相互協力を明記することで、有事の際には4町村が協力することにより業務継続性を確保し、安定した住民サービスの提供を図っていきます。

1. これまでの経緯

- 平成27年度 大阪府及び府内市町村により自治体クラウド検討会を設置
- 平成28年度 豊能町、河南町及び千早赤阪村が協定を締結

2. 情報システム共同化の特徴

- 業務負担の軽減、業務の共通化、標準化
業務の標準化や制度改正等改修作業の共通化を図り、職員の運用負担及び費用負担の軽減を実現します。
- セキュリティの向上、BCPの確保
高いセキュリティレベルを備えた外部のデータセンターでシステムやデータを保有・管理することで、災害に強い環境を実現します。さらに、災害等の有事の際には構成団体が協力することで、業務継続性をより一層高め、安定した住民サービスの提供を図れます。
- 大阪府がコーディネート役として技術的な相談支援を行います。

3. 今後について

島本町においては、令和3年1月に共同化システムの稼働を予定しており、4町村で実質的な協力体制に向けて、具体的な協議を進めていきます。

河南町では、今後もクラウド技術を活用した情報システムの共同化を推進し、システム費用削減、セキュリティの強化、住民サービスの向上を図るための取組みを推進していきます。

注1) 自治体クラウドとは

自治体クラウドとは、「地方公共団体が情報システムを庁舎内で保有・管理することに代えて、外部のデータセンターで保有・管理し、通信回線を経由して利用できるようにする取組。複数の地方公共団体の情報システムの集約と共同利用を進めることにより、経費の削減及び住民サービスの向上等を図るもの。」「(経済財政運営と改革の基本方針2016)」「世界最先端IT国家創造宣言」等」

(参考) 府内市町村の自治体クラウド導入状況

- ・高石市・忠岡町・田尻町・泉佐野市グループ(H25)
- ・豊能町・河南町・千早赤阪村グループ(H29)
- ・阪南市・太子町グループ(H30)

注2) 情報システムの共同化とは

住民情報、税、国民健康保険、福祉等の業務に関するシステムを4団体が共同で利用することをいう。

「参考」自治体クラウドのイメージ図(総務省「情報通信白書」より)

